

令和２年度予算の概要

令和２年度は、将来構想策定会議のビジョンに基づき取り組む事業および創立１００周年へとつながる取り組みを推進することを基本とした年度です。

事業計画は、財務基盤の確立に向けた資金投入となることから、中長期計画における事業実施の意義を明らかにし、経営戦略上、必要不可欠、優先度、緊急性のある案件に限定し、単年度収支を勘案して実施判断する予算措置を行いました。

予算編成方針は、①事業活動収支差額黒字編成とする。②教育活動収支差額黒字編成とする。以上を骨格として、予算編成および収支改善に全学全教職員連携して取り組むこととしました。

以下、理事会・評議員会にて承認されました令和２年度の事業計画予算および事業活動収支予算について概要をご報告します。

〔事業計画〕

教育、研究、診療の環境整備に関することにおいては、（１）教育活動充実のための環境整備（全２０事業）①御井学舎情報教育センターシステム②医学部マルチメディア機器更新③附設ＩＣＴ教育環境整備他。（２）研究活動充実のための環境整備①私立大学研究ブランディング事業。（３）診療活動充実のための環境整備（全１０事業）①大学病院・医療センター電子カルテシステム更新②大学病院・医療センター生理検査部門システム更新。（４）省エネ対策および施設設備の適正な維持管理に係る改修事業

以上、事業計画に係る予算総額は５６億９千１百万円となりました。

〔事業活動収支予算の状況〕

事業活動収入計の５８９億３千７百万円から、事業活動支出計の５８７億６千４百万円を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は、１億７千４百万円となり、令和元年度予算比で１億２千８百万円の増となります。

経常収支差額は３億９百万円となり、令和元年度予算比２億８百万円増となります。収入では人間健康学部設置後の最終年度である学年進行等を要因とする学納金増および大学病院の医療収入増を見込んでいます。支出では医療経費増を見込んでいるものの、その他の経費では既存予算の見直しおよび不要不急の支出削減を行い、本業である教育活動収支の改善を念頭に編成した予算としました。基本金組入額は事業計画に基づき９億４千７百万円としました。

安定した財務基盤の確立に向けて、予算の進捗管理および適正な予算執行の徹底を通して、収支改善の取り組みを継続し、教育・研究・医療の充実に邁進する所存です。